

御前崎市立白羽小学校



出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年7月3日(木)

御前崎市立白羽小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、

土器の分類体験 石器の試し切り体験 火起こし体験を行いました。

土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。



<児童の感想>

資料集で見ていた土器を本当に触れて楽しかった。縄文土器は、色も厚さも弥生土器や須恵器と違って分かりやすかった。焼き方の違いも知れた。



石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

さつまいももザクッと切れてびっくりした。黒曜石の持つ角度によって、切れ味が変わることがわかった。物を切ることができる石を見つけた昔の人はすごいと思った。



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

なかなか火がつかなくて、大変だった。講師の方がタイミングを教えてくださいましたので、火をつけることができて嬉しかった。昔の人は火が欲しいと毎回火起こしをするから、すごく大変だと思った。



<先生方の感想>

詳しい説明を聞きながら土器を分類することで、厚さや模様だけでなく、音も聞きながら楽しく分類する姿が見られました。石器の試し切りや火起こし体験を行うことで、その時代の知恵を改めて実感した様子でした。「体験なら楽しいけど、これが毎日だと大変すぎる」と苦勞も感じることができました。ありがとうございました。

